



ほたるっ子

磐梯第一小学校
学校だより第26号
令和2年10月12日
文責：校長 酒井康雄

冬の使者とともに冬鳥が移動しています！

磐梯山の山頂から色づきはじめ、県内でも紅葉の便りが聞こえるようになってきました。8日には猪苗代湖に冬の使者であるハクチョウの飛来したニュースも聞かれました。今の時期、夏の間、日本で過ごしたキビタキの仲間は南へ移動しています。一方、シベリアなどの北国で子育てをしていたハクチョウなどの冬鳥が日本へ移動しています。猪苗代湖には、ハクチョウだけでなく、カモも少しずつ入ってきています。週末、カモの観察にいったところ、写真のようなカモが1羽いました。片目がありません。

日本までには何百km、いやそれ以上の道のりを何日もかけて日本に飛んできたのでしょうか。よく日本まで飛んできたなあと感心しました。また、生きる力強さを改めて感じました。さらに驚いたのは、そのカモの後にメスのカモがついて泳いでいました。ペアで日本に飛んできたのでしょうか。

これまで、片足のカモを観察したこともあります。でも、回りのカモに負けじと餌を一生懸命探していました。自然界で、生き物はいつ命を落とすかわからない危険な状況にさらされています。

でも、どんな状況でも命の限り、生き抜こうとする健気な姿を見ると、改めて生きる意味や素晴らしさを考える必要があると感じました。

